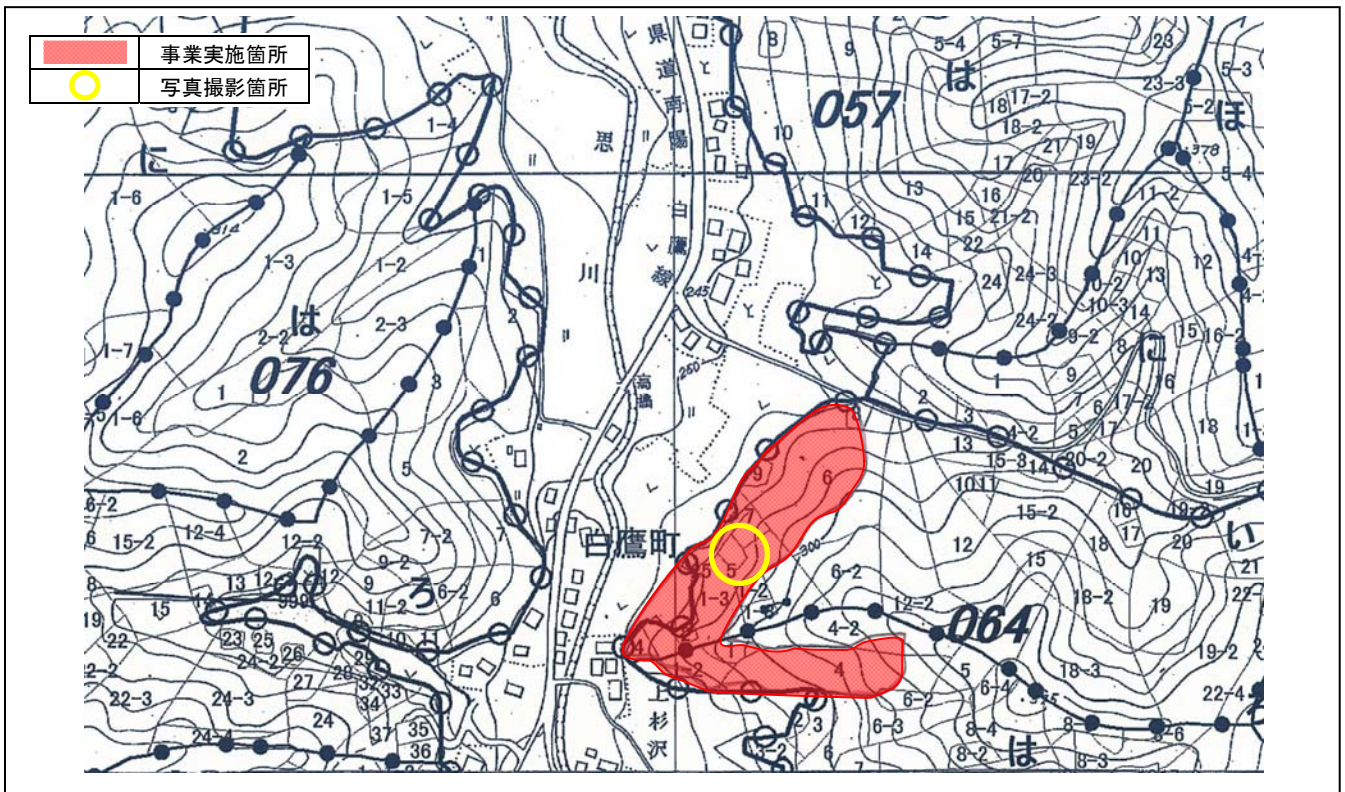


平成26年度 荒廃森林緊急整備事業箇所の概要

①

位置	西置賜郡白鷹町 大字畔藤字小町ヶ入 地内		長期育成林整備	面積	2.21ha
整備前密度	1,700 本/ha	整備後密度	1,309 本/ha	伐採率	23%
整備内容	間伐			森林作業道	—
保全対象	集落、県道、田畑、河川				
整備前の状況	施行箇所は、上杉沢集落及び県道等に近接している林齢42年生のスギ林分であり、以前は森林所有者が自ら手入れをしていたが、最近では10年以上森林整備がなされていない状況で、間伐遅れにより過密状況となっていた。				
整備方針	過密状況を解消するため、被圧木や劣勢木を主体に間伐を行い、適正な密度へ誘導するとともに、伐採により林床に光を入れることで下層植生の生育を促し、健全なスギ林に誘導し、公益的機能等の増進を図った。				
今後の管理方針	整備後密度がまだ約1,300本/haであるため、今後の成長を確認しながら適切な間伐を実施する。				

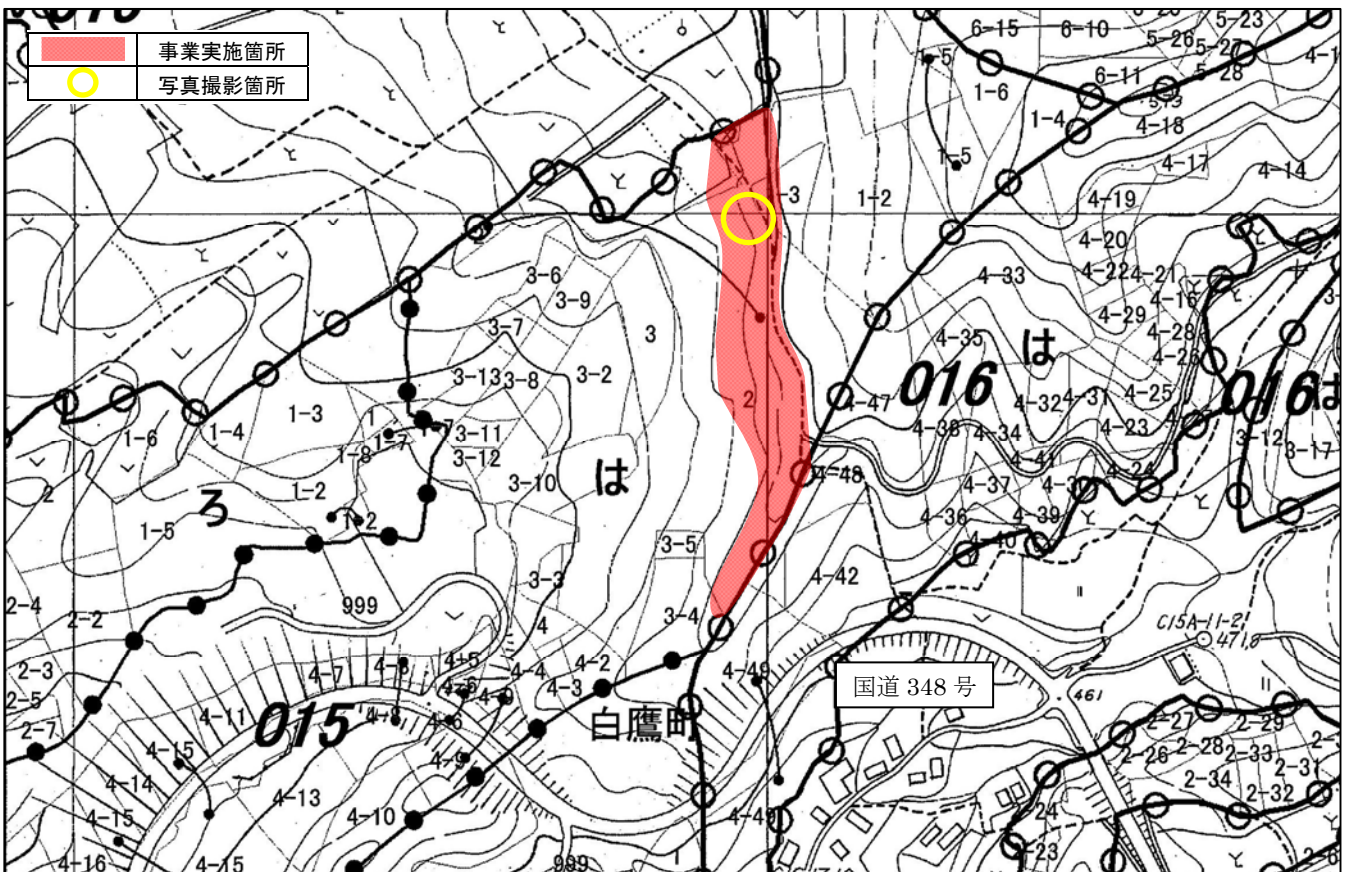


整備前 H26 実施箇所



整備後 H26 実施箇所

位置	西置賜郡白鷹町 大字滝野字松村二 地内		里山林再生	面積	1.06ha
伐採木本数	262本/ha	伐採木材積	111m ³ /ha	伐採率	—
整備内容	病虫害被害木等の伐倒除去			森林作業道	—
保全対象	町道、農道、田畑				
整備前の状況	施行箇所は林齢47年生のアカマツ林であり、約10年前から松くい虫被害が蔓延しアカマツの枯損被害が目立つようになっていた。当該森林は町道に隣接しており、枯損木等の倒伏による二次被害の危険性が高い状況にあった。				
整備方針	上層木のアカマツの枯損木を伐倒除去することにより、入込者等に対する二次被害の防止を図るとともに、後継広葉樹の生育を促し、森林の公益的機能の増進を図った。				
今後の管理方針	上層木の状況を確認し二次被害の発生に注意しながら、下層木の後継広葉樹の生育により森林を維持していく。				



整備前 H27 実施箇所



整備後 H27 実施箇所

事業概要	
事業名	炭焼きから学ぶ森林バイオ事業
区分・事業項目	基本配分枠・4森林資源の利活用
事業の目的及び概要	<p>本町では、木炭生産（炭焼き）に適した広葉樹資源が豊富にあり、黒炭の生産量は、県内の約2割を占めております。</p> <p>木炭は燃料としての利用のほか、水質浄化、土壌改良等にも利用され、再生可能な循環型資源として注目されております。</p> <p>現在では珍しくなった炭焼き体験会を開催し、炭焼きの工程や木炭と里山林のかかわり、木炭の良さを広く県民に普及啓発していきます。</p>
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実施場所：白鷹町ふるさと森林公園内炭焼き小屋 ○ 事業内容：炭焼き体験・木炭と里山林との関わり学習（冬予定）
事業実施の効果	<p>炭焼き体験は、町内外から例年多くの参加者が集まる人気の企画です。</p> <p>炭焼き体験を通して、燃料革命以降利用されなくなってきた里山林の現状を学び、木炭と里山林との関わりや木炭の良さを広く県民に普及啓発することが期待されます。</p>



昨年度の様子

事業概要	
事業名	絆を深める森林整備事業
区分・事業項目	特別配分枠・3豊かな森づくり活動
事業の目的及び概要	<p>平成25年度から「朝日相扶絆の森 白鷹」として、(株)朝日相扶製作所・白鷹町・山形県が協定を結び、白鷹町ふるさと森林公園内にシンボルゾーンを設定し、森づくり活動に取り組んでおります。</p> <p>森づくり活動を通して、緑を愛する心と地域の環境保全に貢献していきます。</p>
事業内容	<p>○ 実施場所：白鷹町ふるさと森林公園内 4.1ha</p> <p>○ 事業内容：ブナ林の下刈り、森林散策と樹名板の取り付け（5/23） ：森林散策と木のイスづくり（秋予定）</p>
事業実施の効果	<p>5月の森づくり活動は、男性を中心にブナ林の下刈り、女性と子供を中心に森林散策を行いながら木や葉の特徴を学び、木に樹名板を取り付けた。</p> <p>秋の森づくり活動では、森林散策と木の良さを知ってもらうために、木のイスづくりを行う予定です。</p>



5月の森づくり活動の様子